

| 項目 | 評価指標 | 学校の自己評価 結果の考察・分析及び改善策等 | 自己評価 | | 学校運営協議会委員の意見 | 評価 |
|-----------------------|---|---|------|----|--|----|
| | | | 指標別 | 総合 | | |
| 1 かしこい子 | ① 学習内容の定着・学力の向上 ・基礎学力の定着 ・家庭学習の習慣化 | <ul style="list-style-type: none"> 週に2回、朝のスキルタイムで漢字や計算問題に取り組み習熟を図った。 12月に行った学力テストでは、1～4年生は国語・算数、5・6年生は、国語・算数・理科・社会を受けた。結果は、4つの学年が、各教科とも全国平均、串間市平均を上回った結果であった。2つの学年では国語、算数の平均が市の平均を下回った結果になった。今後は、結果を分析し、本年度内に対策を講じ、授業で力を付けていきたい。 家庭学習の取組について、担任がしっかりと見届けをしている。よりよい宅習を学級通信等で紹介し、家庭への啓発を行った。 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> 学校がいろいろと工夫したり学級通信等で啓発を行ったりしているので家庭との連携が取れていると感じた。 | 3 |
| | ② 表現力の向上 ・自分の考えを書いたり、発表したりできる時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 校内研究で研究授業を行い、相互授業参観をしながら成果や課題を整理した。複式の在り方と県の方針である「ひなたの学び」を意識し、授業改善を行ってきた。複式授業では、ガイド学習を取り入れ、より児童が主体的に課題解決に取り組めるようにし、自分たちで考えを練り上げ、意見をまとめる学習活動を行った。 授業でICTを活用し、教科書や画像、動画を組み合わせた教材を使いようにした。児童は、視覚的に理解を深めることができ効果的であった。また、一人ひとりの学習進度や理解度に合わせて学習を進めたり、グループでの協働活動をしたりすることを積極的に行ってきた。その結果、児童の興味や関心を引き、学ぶ意欲を高めることができた。また、ICTを使った楽しい学びは、児童の学習意欲の継続につながった。 一人1台のタブレットを活用し、漢字や計算などのドリル学習に取り組み習熟を図った。タブレットを活用することで学習への積極的な態度が見られた。 | 3 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 各学年とも児童が切磋琢磨しながら伸びてきていると感じた。 授業参観時に、児童が地域の素晴らしい場所について調べたことを発表していたがもう少し表現力が欲しいと思った。 1・2年生は元気がよく発表の内容も良かった。 わかりやすい授業をしているのに力がついていないのであれば、宿題などの家庭学習の内容を掘り下げて考えていくといいのではないかと思う。 | |
| | ③ 読書活動の推進 ・読書意欲の向上 (目標貸出冊数 2500冊) ・図書環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に串間市立図書館の図書司書による図書室の整備が図られ、本に親しみやすい環境を保つことができた。 児童は、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを楽しみにする様子が見られた。しかし、読書への関心、意欲の高まりにはつながっていない感がある。読み聞かせに加え、さらに対策を考えて講じる必要がある。 図書貸出冊数が昨年2379冊、児童1人当たり50冊に対して、本年度は1769冊、児童1人当たり45冊と減少している。次年度は図書室利用を積極的に呼びかけ、授業中の学校図書館の利用、昼休みの図書運営や本を読みたいと思わせる手立ての工夫が必要であると考えた。 毎月、串間市立図書館から学級文庫として本の貸し出しを行っており、朝の読書の時間や休み時間に読書を行い読書の習慣付けを継続した。 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> 読書活動では読み聞かせに参加させてもらっているが、児童が熱心に聞いてくれている。こちらもいい刺激になっている。 子どもたちが読み聞かせたり感想を言い合ったりする機会があるといいのではないかと思った。 本に触れる機会が激減していると感じる。タブレットを活用し本を探し読書するのも興味がわくという考え方もあると思う。 | |
| 2 やさしい子 | ① 基本的な生活習慣の定着 ・有明小のあたりまえの実践 ・あいさつの奨励 | <ul style="list-style-type: none"> 年度当初、「有明小のあたりまえ」を全職員で確認し、あたりまえ徹底週間を月の第1週に設定し、基本的な生活習慣の定着を図ったことで一定の成果を得た。 2学期に、友達のことをあだ名や呼び捨てで呼ぶ様子が見られたので学校全体で再確認した。各学年の発達段階に応じて、相手を傷つける呼び方をしないように指導を徹底することができ、児童への浸透を図ることができた。 本年度もあいさつ運動期間を設定し、地区ごとに校門に立ってあいさつを行った。また、代表委員会の児童(高学年中心)が定期的に校門の前に立ち、あいさつ運動を行っている。ほとんどの児童が挨拶がしっかりできているが進んで挨拶をするまでには至っていない。 | 4 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 学校全体であいさつ運動やいじめ防止に取り組んでいる様子が見える。 朝、七つ橋で見守りをしているが挨拶をする子どもも出てきた。 | 4 |
| | ② 心の教育推進 ・教育相談、いじめ防止対策委員会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 毎月、児童に心の教育アンケートを実施することで児童の悩みの把握やいじめの早期発見を図った。月に1度、「いじめ・不登校防止対策委員会」を開き、全職員で状況と指導内容を共通理解することを継続して行った。 不登校傾向の児童はいないが、児童の心身の不調や悩みには、管理職や担任、養護教諭を中心に、ていねいに応じ、連携を図ることで解決をしてきた。スクールカウンセラーとも連携を図りながら指導・支援を行っている。 | 4 | | <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止の項目では、教師の評価が保護者、児童の評価より低い。家庭での様子と学校での様子で子どもの姿に違いがあることが分かる。今後も、授業だけでなく学級での子ども間のやり取りを見て早期発見につなげて欲しい。 | |
| 3 たくましい子 | ① 健康の保持増進に関する理解 ・健康な生活リズムを守ろうとする児童の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 年3回、「生活リズムチェック」を実施し、「保健食育週間だより」毎月「保健だより」を発行した。週末にメディア利用の時間が多くなっている児童もおり学校生活に支障が出ることもあった。今後も家庭と連携して、メディアコントロールができるように指導を続けたい。 むし歯の治療率は、現在66.7%(昨年58%)。残り6名の児童が未治療である。市外の歯科医は予約が取りにくい上、治療に日数を要することが要因と考えられる。長期休業を利用して受診するよう呼びかけたい。 | 3 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 元気に運動している様子が見える。 学校でよく運動ができているように感じる。 異学年との交流もあるようで良い取組だと思う。 保護者と一緒に運動する機会があり良かった。 | 3 |
| | ② 基礎体力と運動技能の向上 ・進んで運動する児童の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 運動好きな児童が多く、昼休みも体育館や外で元気に遊ぶ様子が見られた。朝の活動である「体力向上の時間」は、保健体育委員会による鬼ごっこやリレー遊びを計画的に行った。 冬季に持久走・なわとび旬間を設定し、体力向上を図った。学習カードを活用したり、一定基準を達成した児童を紹介したりしながら、意欲の向上を図った。 上学年も下学年も一緒に縦割り班として、長縄や鬼ごっこすることで、教え合ったり助け合ったりし児童全体の体力向上につながった。 | 4 | | | |
| 4 地域 家庭との 連携 | ① 家庭との連携 ・親子読書の実践 ・ノーメディアデーの実践 | <ul style="list-style-type: none"> ノーメディアデーを設定し、放送委員の児童がメディアコントロールや家読の呼びかけを継続してきた。しかし、ノーメディアや親子読書については、児童・保護者・教師ともに評価が低い。親子で読書の時間が取れないことやインターネットやゲームなどのメディアに過剰に依存していることが考えられる。 一部の児童は、スマホやタブレットを利用する時間が長く、睡眠不足や運動不足など、生活リズムの乱れの心配がある。今後も家庭への呼びかけを継続していく。 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ノーメディアデーを設定するのは良いことだと思う。 | 3 |
| | ③ 地域との連携 ・地域と連携した活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 有明校区社会福祉ふれあい推進協議会と連携し、学校行事を知らせることで、多くの地域の方のご協力があった。運動会、グリーンタイム、もちつき等、参加が多く、交流しながら充実した時間になった。 「今町地区の盆踊り」、「木代神社秋祭り」のお知らせを児童・保護者にし、地域行事への参加を呼びかけた。また、串間市秋まつりパレードに3・4年生が学校代表として参加した。 1月に「有明小学校地域交流グラウンドゴルフ」を実施し、地域在住者と6年生で親睦を深めることができた。 学校だよりの定期発行、ホームページの更新を行い地域や保護者に学校の教育活動について情報を発信を継続した。 | 4 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 学校便りが地区の回覧板で回ってくるので楽しみに読ませてもらっている。 学校の行事に各地区の方が参加し交流するのは、大人も子どもも地元を愛する心を分かち合えるので良いと思う。 地域の行事に他の地区の大人や子どもが参加するのは良いことだと思う。 | |

